



市章

まにわ



委員会室

総務

谷本

原

産業建設

文教厚生



初本

河部

発表者

発表者

大月

岡崎



座長

政策討論会



緒形

古南

市民にとって重要な政策及び課題について議論を深め、共通認識を図り、政策立案及び政策提言を推進することを目的とした真庭市議会政策討論会を10月11日に開催しました。

文教厚生常任委員会から「共生社会の実現を目指して」、総務常任委員会から「災害に強い真庭市

になるために」、産業建設常任委員会から「新たな有害鳥獣対策の実施」を提案し、議員間で討論を行いました。

同月29日の議会全員協議会で最終確認をして、政策提言書にまとめ市長に提出することを決めました。(4ページから5ページに続きます)

年頭

新春のお慶びを

慎重かつ的確な判断を行う



真庭市議会議長
古南源二

昨年4月より、新たな体制で議会改革の推進を引き継ぎ、「議会報告会+市民と語る会」に新たに開催希望団体の公募を取り入れるなど、市民の皆様との意見交換の機会を積極的に設け、直接お聴きした皆様のご意見を施策に反映すべく、市政に対し、政策提言という形でつなげているところです。

こうした取り組みは、市民の代表である議会のひとつの役割であると同時に、「ESD+GIS未来杜市 真庭」の目指す持続可能なまちづくりにもつながるものであります。

市議会には、市民ニーズの

市政への反映と集約が期待

される一方で、多様な人材の市議会への参画を促し、議会を活性化することが課題となつていきます。そのために、市議会の現状と課題について市民と双方方向のコミュニケーションを深めるとともに議会改革と活性化への不断の努力を続けることで、市民の皆様への負託に応えるよう全力で子年を進んでまいります。

また、市民の皆様が安心して健やかに暮らせるまちづくりに向け、各種施策の決定にあたり、慎重かつ的確な判断を行つてまいりる所存でありますので、皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



岡崎陽輔



福島一則



おめでとう
ございまチュウ
今年もよろしく
お願いしまウス



岩本壯八



妹尾智之

政治家が選挙区内の人に年賀状などの時候のあいさつ状を出すことは禁止されています

の年世界が輝く 真庭が輝く



中尾哲雄



福井荘助



入澤廣成



長尾 修



河部辰夫



初本 勝

笑顔でご挨拶

挨拶

申し上げます



市政発展に向け議論を尽くす

相次ぐ豪雨や台風など自然の猛威により、日本各地で大規模な河川氾濫、土砂災害、停電などが発生、真庭市においても被害が発生し、改めて防災減災対策の大切さを痛感した一年でもありました。ここに、安全・安心なまちづくりに向けた決意を新たにするとともに、本年は、災害のない穏やかな一年であってほしいと願っております。

魅力や可能性を最大限に発揮することにより、市民の皆様が真庭に愛着を持ち「住んでよし、訪れてよし」の理念で人が集いにぎわう地域づくりを目指してまいります。

二元代表制の一翼を担う本市議会は、真庭市議会基本条例の理念のもと、議会改革を更に推進するとともに、議会の権能強化に努め、市民福祉の向上と更なる市政発展に向け議論を尽くす所存です。

この新しい年が、皆様にとりまして、笑顔のあふれる素晴らしい一年となりますこと祈念申し上げます。

社会環境が変化する中で、本市が持続的に発展するためには、古来から受け継がれてきた歴史、伝統、文化を大切に守り育てながら、真庭が持つ



真庭市議会副議長
緒形 尚



庄司史郎



竹原茂三



山本久恵



原 秀樹



谷本彰良



柴田正志

2020^{令和2年}は東京オリンピック 東京パラリンピック



氏平篤正



築澤敏夫



大月説子



小田康文



中元唯資



柿本健治

写真は議席番号順

政策 提言

今年度も3つの
政策提言を
提出しました

勝山 三浦坂

勝山町並み保存地区を北に歩き、中央付近を右に折れると三浦坂がある。その階段を上ると右に「ひしお」、左に「安養寺」がある。石畳のこの坂、なんとも絵になる。着物を着たらぜひ訪れ、写真を撮ってSNSにあげよう。世界に発信しよう。素敵な三浦坂。(写真左から広報編集委員の山本、谷本、初本、氏平、緒形、大月)

古南議長が政策提言書を太田市長に渡す

各常任委員会が調査研究をして、まとめた案を政策討論会で議論し、全員協議会で完成させた政策提言書。今年度も3つがまとまり、11月8日、古南議長と緒形副議長が太田市長へ政策提言書を手交しました。これらの案の実行については執行部が研究していきます。



提言書を市長へ渡す議長

前回の提言は

どうなった？

総務委の人口減少対策として「真庭に残ろう、真庭に帰ろう」写真集・動画を作り、17歳に贈呈する！は実現されていませんが、様々な人口減少対策事業に取り組んでいます。文教委の放課後児童健全育成事業への支援の目玉として、遷喬小学校の校庭に放課後児童クラブ専用の建物を建設しています。産業建委の新たな森林管理システム構築として提言した作業道等の路網整備は、森林環境譲与税を活用し広葉樹林の活用も含め今年度より取り組んでいます。

総合防災訓練での避難所設営



災害に強い真庭市になるために

真庭市では、真庭市地域防災計画に基づき、災害に強いまちづくりと市民の命を守ることを推進しています。市民自ら自助・共助を認識し、行政と市民が協働して、自然災害に強い真庭市を構築していくことが重要です。特に指定避難所である体育館のアーリーナ、廊下やトイレの照明、体維持のための空調機器、通信機器等の電源供給が必須です。そこで地域防災力強化のため、指定避難所へライフライン（特に電気設備）の強化策として「停電時電源切替システム」を導入し、電力供給設備（発電機や電気自動車から受電するための設備）の補強・整備を提言しました。

総

総務常任委員会

共生社会の実現を

目指して

共生社会の実現を目指してと題して、①共生のまちづくり条例（仮称）の制定、②手話言語条例の制定について政策提言を行いました。

共生のまちづくり条例は、障がいや理由とする差別の解消について基本理念を定め、市や市民及び事業者の責務を明らかにし、市民の施策の基本となる事項を定めることにより、共生のまち真庭市を目指すものです。手話言語条例は、手話を言語として位置づけ、その理解の促進および普及に

文

文教厚生常任委員会



まちわ福祉フェスでの手話講座

本理念を定め、市の責務並びに市民及び事業者の役割を明らかにし、手話に関する施策の基本となる事項を定めるものです。

檻で捕獲した猿



新たな有害鳥獣対策の実施

近年、人里近くに出没する猪や猿等の有害鳥獣による農作物への被害が多発することにより、営農意欲の減退へ繋がっており、有害鳥獣対策は喫緊の課題であります。一刻を争う対策が必要なことから、以下の2点の施策を提言しました。

①「有害鳥獣対策室（仮称）」の設置について「市が有害鳥獣対策に対し、積極的な解決を目指すため、対策室を設置し、県や専門機関と連携し3年を目途に、人と事業を集中し、必要に応じ体制を見直す。」
②「有害鳥獣対策地域組織（仮称）」の設置について「自治会等の地域組織と猟友会が中心となって地域ぐるみで有害鳥獣対策を実施。」

産

産業建設常任委員会

12

月定例会 会期12月3日~12月24日

令和元年度12月補正予算

12月議会の会議録は3月上旬、ホームページ及び議会事務局で閲覧できます

3億1,225万円を可決しました

	12月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	2,818万円	299億8,268万円	8.1%減
特別会計	2億7,971万円	134億6,150万円	0.6%減
公営企業会計(下水道事業)	436万円	63億4,281万円	5.6%減

(単位:万円、千円を四捨五入)

【主な内容】 今回の一般質問は13人
 ・補正予算8件を可決 議案8件を可決
 ・陳情1件を趣旨採択 3件を継続審査としました

※特別会計内訳

国民健康保険2億7,988万円/後期高齢者医療491万円
 介護保険△721万円/介護サービス事業勘定△456万円
 簡易水道事業699万円/浄化槽事業△30万円

補正後の全会計予算額

497億8,699万円

対前年比

31億867万円(5.9%)減

ため池に 1,365万円

一般会計 主な歳出

歳出の主なものは、データ連携に対応するための生活保護システム改修123万円、農業用ため池の廃止及び改修1,365万円、北房農泊推進協議会のインバウンド強化を支援する事業資金の貸付176万円をそれぞれ増額しました。

一般会計 債務負担行為

債務負担行為とは、契約等で発生する債務の負担を設定する行為です。主なものは、真庭市一般廃棄物(生ごみ)収集運搬業務委託1,502万円、真庭市一般廃棄物(家庭ごみ)収集運搬業務委託2億6,957万円、東京オリンピック聖火リレー実施事業385万円、高山高原ライディングパークトイレ整備事業2,261万円、目木構模型製作事業550万円を設定しました。

簡易水道が企業会計に

簡易水道の経営基盤の強化と安定を図るため、簡易水道事業を特別会計から公営企業会計に令和2年4月1日から移行します。移行による水道利用者、市民の負担はありません。

職員給与が0.1%アップ

人事院勧告どおり、民間格差による初任給の引上げのため平均約0.1%増の職員給与改定を行いました。

初任給

(大卒程度) 182,200円
 (現行) 180,700円
 (高卒者) 150,600円
 (現行) 148,600円
 4月に遡って96万円が支給されます。

湯原ふれあいセンター の使用料決まる

令和2年4月1日から湯原ふれあいセンターが「振興局」「市民センター」「公民館」「図書館」の複合施設となります。使用料が次のとおり決まりました。

主な 議決 内容



工事前の湯原ふれあいセンター

区分	使用料
ホール	1,480円
第1会議室	270円
第2会議室	220円
第3会議室	70円
第4会議室	70円
多目的室	90円

1時間につき

冷暖房設備 使用料×50/100の額

陳情

CLT晴海プロジェクトの実現と観光振興

【趣旨採択】

▼陳情第7号 陳情書
「CLT晴海プロジェクト」の実現と観光振興について

産業建設常任委員会から、趣旨採択とする報告後、委員会にて趣旨採択に反対した庄司議員(意見に賛成 中元



蒜山高原 三木ヶ原

議員)が少数意見の報告を行いました。

反対討論及び賛成討論の後、採決の結果、委員会の決定どおり趣旨採択となりました。

【討論あり】

【反対】岡崎陽輔議員

反対の理由は3点、CLT晴海プロジェクトへの投資効果がどの程度かいまだ見えない。2点目に施設移転後の施設管理・運営形態の全容がまだ明らかになっていない。3点目に趣旨採択にする

くらいに確信が無いのであれば継続にすべきという3点から趣旨採択に反対する。

【賛成】緒形尚議員

真庭産のCLTを使用して、世界的な建築家・隈研吾氏が設計したCLT建築物が、真庭市に移築されることは、特に入込数の減少する蒜山の観光客の回復、インバウンドの増加や滞在観光の推進など観光の質の向上を図る上での起爆剤となると期待をすることは当然のことである。

【反対】柿本健治議員

本陳情に対して、内容に全面的に反対の立場ではない。この施設を蒜山へ移設して事業展開する中で、経費などのコスト負担が明確になっていない。3月議会に向け詳細な提案をするときれている段階で、なぜ趣旨採択なのか理解できない。趣旨採択は時期尚早の観点から反対する。

【賛成】福井莊助議員

東京晴海パビリオンも完成し委員会で見てきたが、文化的価値の高い施設で国内外に日本の木材文化を発信でき、観光の質の向上に役立つと確信する。観光客の減少が続いている蒜山地域への観光誘致に繋がり市内全体への波及効果に寄与することから趣旨採択に賛成する。

▼趣旨採択に賛成した議員

・緒形尚、妹尾智之、岩本壯八、柴田正志、谷本彰良、原秀樹、初本勝、河部辰夫、長尾修、入澤廣成、福井莊助、築澤敏夫、氏平篤正

▼趣旨採択に賛成しなかった議員・福島一則、岡崎陽輔、山本久恵、竹原茂三、庄司史郎、中尾哲雄、柿本健治、中元唯資、小田康文、大月説子

勝山美しい森条例を廃止

「勝山美しい森」は平成9年に県が設置し、平成20年に真庭市が譲渡を受け、管理運営していましたが、ピ



勝山美しい森を視察する産業建設常任委員会

ターセンター周辺は、共用開始直後から山腹崩壊や地割れが発生し、県が対策工事を実施しましたが、平成30年3月に土留め擁壁に異常が確認されました。レジャーのニーズが多様化する中、利用者が増加が見込めず、災害防止の観点からも廃止となりました。

4階傍聴席は市民席



傍聴席入口

傍聴を希望される方は、議会開会中に真庭市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。傍聴席は30席用意しています。

また、本会議の様子は真庭いきいきテレビで生中継されています。議員の発言の際、傍聴席が生中継に映り込む場合がありますが、ご了承ください。

産業建設常任委員会は、静岡県駿東郡清水町の中央に流れている富士山よりの伏流水、柿田川の清流とまちづくりについて視察しました。

町の中心を流れる柿田川は、柿田川公園の湧水を源に長さ1,200m、流水のほぼ全量が湧水から成る日本三大清流に数えられる一級河川です。柿田川の環境を守るため、住民による柿田川湧水保全の会が昭和63年6月に会員120名で設立、柿田川に関する調査、資料の収集、行政への保全、住民等に対する要請、啓発活動を行っています。また平成3年3月には(財)柿田川みどりのトラストが法人格取得、自然保護を最優先に周辺の土地を取得し自然保全目的で活動しているとのこと。

柿田川の観光活用

柿田川湧水群は国指定の天然記念物であり、湧水が湧く柿田川公園は都市緑地として、都市計画決定されている公園です。都市緑化指定を受けていますが、天然記念物でもあり、開発を進めるのは困難を要するとのこと。また、柿田川の環境を守るため、外来種の駆除等に年2回町民のボランティアによる活動の



富士山の伏流水が湧き出す 柿田川湧水群

ほか、定期的に水質検査を行っています。

柿田川の観光活用としては、日本の名水百選や柿田川を含む伊豆半島が世界ジオパークとして認定を受け、知名度がさらに上昇しましたが、貴重な自然の保護が大前提であり、まず町民に向け地域の愛着を深めていくことを柱として、町の魅力を高めていく観光のあり方を目指していますとの説明を受けました。その後環境保全と観光客誘致への整備に取り組んでいる柿田川公園を視察しました。

真庭市にも名水百選に選ばれている塩釜の冷泉があり、環境保全と整備において参考となる事例がありました。

(文：初本)

先・進・地・視・察・レ・ポ・ー・ト

11月5日 静岡県清水町：清水町役場
11月6日 東京都中央区：晴海建設地

委員から、移築を計画している蒜山は寒冷地であり、パビリオンの屋根はガラス製ですが積雪時相当荷重がかかります。どんな設計をしているか等質問をし、担当者からは、30mmの強化ガラス、相当強いもので、雪が解けずに2.5m積もっていても十分大丈夫な強度とのことでした。

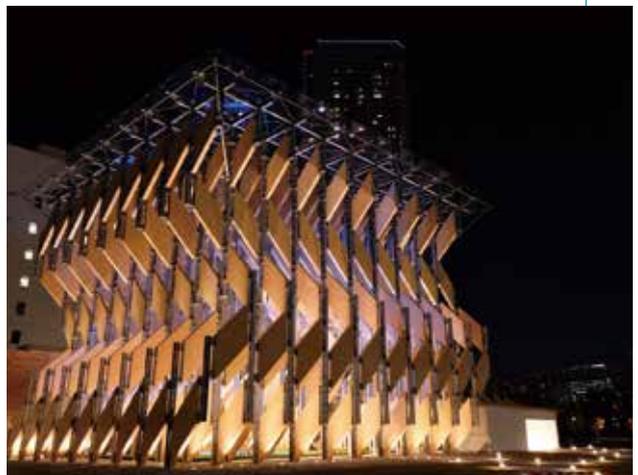
選手村がある晴海地区、今後オリンピックに向けて、さらに盛り上がっていくと実感しました。(文：緒形)



建設中のパビリオン前

東京都 晴海に不思議な建物

東京・晴海で、真庭産のCLTパネルを組み合わせる建設中のパビリオン棟、室内展示棟、展示別棟の3棟の建設状況を視察しました。各棟内には、子ども向けのアミューズメント施設や映像展示、カフェなどが入る予定とのことでした。



令和元年12月14日オープン ライトアップの様子

総務常任委員会

本委員会では、9月5日、10日、11日、18日、24日、26日、10月17日、11月20日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

■災害に強い真庭市になるために

9月の委員会では、真庭市にも多くの被害をもたらした平成30年7月豪雨災害など全国各地で頻発する災害の発生状況をふまえ、安全に安心して住み続けられる自然災害に強い真庭市の構築が喫緊の課題であると考へ、政策討論会での地域の防災力強化策の提案に向け、委員間で議論を重ねました。

《総務部》

■任用制度の適正な運用に向けて

令和2年4月から導入される会計年度任用職員制度の運用方針について説明がありました。

任用形態は、一日の勤務時間を最長7時間30分とするパートタイム会計年度任用職員のみでの運用とする。任用期間は同一年度内で最長1年まで任用可能。給与・報酬には原則昇給を導入し、任期が6月以上で週30

時間以上勤務の者を対象に正規職員と同様の2.6月分の期末手当を支給する。任期や勤務時間の長短に関わらず、全ての職員が人事評価の対象となる予定です。

従来の臨時職員に代わる新たな任用制度への移行にあたり、休暇制度等の待遇や人件費について適正な運用を求め、質疑を行いました。

■廃校・廃園の未来を考える

市内の9つの廃校施設と5つの廃園施設の活用進捗状況について報告がありました。

すでに8つの施設では貸付や売却等による利活用が進められており、阿口小学校と別所小学校も地元活用の方向で検討されていますが、皆部小学校、上水田小学校、水田小学校、皆部幼稚園は、ホームページ等により全国的に活用策を公募したものの、応募が無い状況です。

活用案が見つからない施設は、解体費用に合併特例事業債の充当が可能な令和6年度の最終期限を見据え、解体を視野に入れた検討も必要な段階となっています。

- 樹良成文二夫則恵
- 秀彰廣康源敏一久
- 本澤田南澤島本
- 原谷入小古築福山
- 委員長 員 員 員 員
- 委員 委員 委員 委員

Q 地元からは廃校施設の草刈りや備品に関する苦情も聞いており、公募を継続するのであれば、施設の維持管理体制を整える必要があるのではないか。

A 管理体制については振興局と協議し、今後の方針を示す。



旧北房中央保育園舎を活用したカフェ「旅人食堂」

数値的な成果のみならず、作成のための活動を通じた地域の防災意識の高まりも期待できるものです。

今後の課題として、避難プランの個人情報の管理や、有事の際の避難支援につなげるための平常時の情報活用等について意見を交わしました。

《危機管理課》

■迅速かつ的確な避難支援のために地域防災説明会を開催し、自主防災組織を中心とした取り組みを進めている避難行動要支援者の個別計画「私の避難プラン」の作成状況について中間報告がありました。

市が把握している要支援者と自ら登録を希望された人を合わせた避難行動要支援者名簿の対象者1,192人のうち、約4割にあたる527人の方の避難プランがすでに作成されています。

また、要支援者が住む自主防災組織のうち、約6割にあたる75組織が、戸別訪問等を実施し、避難プランの作成に取り組みま

文教厚生常任委員会

本委員会では、9月5日、12日、18日、26日、11月18日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

■共生社会の実現を目指して

9月の委員会では、障がいの有無にかかわらず、その人らしさを認め合いながら、共に生きる社会を実現するため、政策討論会での「共生社会の実現を目指した施策」の提案に向け、委員間で議論を重ねました。

《健康福祉部》

■これまでの政策提言のその後

健康福祉部から過去2回の政策提言を受けてからの取り組み状況の報告がありました。

「障がい者の一般就労に向けた支援策」においては、今年度、企業や農業経営者向けの相談会やセミナーを開催し、障がい者雇用についての理解を深めてもらいました。また、民間企業において職場実習も実施しました。今後も継続して職場実習を取り組めるよう民間企業や農業経営者との調整を進めます。

「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」においては、放課後児童クラブ専用スペース確保の方針や運営形態統一に向けた取組等の報告がありました。

専用スペース確保は経済的かつ効果的な整備に努めるため、①小学校内の余裕教室や余裕スペース、②小学校近隣の公共施設、③小学校敷地内への専用施設の設置の3点の順に検討します。

また、現在では運営形態や支援員・補助員の処遇等がクラブごとに異なっており、今後、全クラブを対象とした会議を開催し、その統一に向けて取り組みます。

《教育委員会》

■全国学力・学習状況調査結果が示すもの

学校教育課から平成31年度の全国学力・学習状況調査の真庭市における結果概要の報告がありました。

小中学生ともに、「国語、算数・数学の授業内容はよく分かっている」という割合は全国値を上回っていますが、正答率は全国値と比べ下回っています。

輔子正治志之三雄
陽説篤健正智茂哲
崎月平本田尾原尾
岡大氏柿柴妹竹中
委員長 員 員 員 員 員
委員 委員 委員 委員 委員



ドイツパラリンピアン アンジェリカ・トラバート氏講演会

ています。さらに、中学生の平日の家庭学習時間が1時間に満たない生徒の割合が4割以上であり、家庭学習習慣の定着が課題です。また、自分の良さを認めることができる小中学生の割合や、夢を持つ中学生の割合は全国平均より低くなっています。

《生活環境部》

■共生社会ホストタウンの登録申請

スポーツ・文化振興課から共生社会ホストタウンの登録申請を国へ行ったと報告がありました。

共生社会ホストタウンとは、パラリンピック選手の受入を契機に、日本各地における共生社会の実現に向けた取組を加速し、オリンピック・パラリンピック以降にもつなげていくというものです。

真庭市では、共生社会ホストタウンに向け、ユニバーサルデザインのまちづくり、学校でのバリアフリーの学習をはじめとした心のバリアフリー、パラリンピアンや地元障がい者アスリートとの交流の3点の取り組みをしています。

申請の結果、12月17日に登録が決定し、パラリンピック選手との交流をはじめ様々な取り組みが計画されています。

教育委員会では、これまでも授業改善、学習習慣の定着、キャリア教育の推進に取り組んできましたが、再度その重要性を共有し、教育活動の改善を図っていきます。

Q 児童生徒の地域とのかかわりについてどう思うか。

A 地域を良くするという意識が低いので、キャリア教育の推進が必要。

産業建設常任委員会

本委員会では、9月4日、13日、18日、10月17日、11月19日に委員会を開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

■新たな有害鳥獣対策を

9月の委員会では、頻発する有害鳥獣に対する対策を検討するため、真庭地区猟友会との意見交換会を行い、政策討論会での新たな有害鳥獣対策の提案に向け、委員間で議論を重ねました。

■先進地視察を実施

11月5日・6日に静岡県駿東郡清水町と東京都中央区に建設中の晴海パピリオンの視察を行いました。（詳細はP8をご覧ください。）

《産業観光部》

■バイオマス発電、順調に稼働中

林業・バイオマス産業課から、真庭バイオマス発電株式会社の経営状況について報告がありました。

平成30年7月から令和元年6月期の売上高は約23億2千万円で、稼働率は103%、経費は材料加工管理費等

が約19億5千万円で、営業利益が約3億7千万円と順調に稼働を続けています。

Q 発電所は何年度までF-I-T（再生可能エネルギー固定価格買取制度）が利用できるのか。F-I-T期間終了後の展開は。

A F-I-T制度自体は20年で、今年5年目であり、あと15年ある。F-I-T後の自立は国も課題ということで議論されている。一つの方法が地域マイクログリッドという考え方で、今検討を進めている。

■真庭市蒜山地域振興計画基本構想策定中

産業政策課より、真庭市蒜山地域振興計画基本構想策定検討委員会について説明がありました。

この委員会では、蒜山地域の観光振興、市全体への波及効果、CLT建築物の導入機能、立地場所についての検討が大きな柱となっており、メンバーは岡山大学大学院社会文化科学研究科の中村良平特任教授を会長とし、観光、芸術などの専門家、商工、農業観光団体等の団体の代表、

夫勝八尚郎修資助
辰 壯 史 唯 荘
部 本 本 形 司 尾 元 井
河 初 岩 緒 庄 長 中 福
員 員 員 員 員 員
委 委 委 委 委 委
副 委 委 委 委 委 委

地元住民の代表、環境省、県、市等14人の委員により構成しています。

CLT建築物の立地場所の検討状況はブランド力、集客の向上、実現性、投資コストから検討しており、隈研吾氏の作品を移築することで、蒜山の観光の質を上げるといった大きな目的があります。実現に向けて地方創生交付金を活用し、移築を検討しているため、2021年の春を目途に開業するというスケジュールです。

また、CLT建築物の機能は、パピリオンはモニユメントとし、CLT建築物を蒜山高原のゲートウェイにという地元の要望もあり、国立公園蒜山にふさわしいビジターセンターとして検討しています。運営機能はミュージアム型とカフェレストラン物販を主体とした収益施設型どちらにするか委員会で議論し、11月中旬に中間報告として市長に答申することでした。

《湯原 振興局》

■湯原ダム下流河川の整備を実施

平成29年10月の台風21号による湯

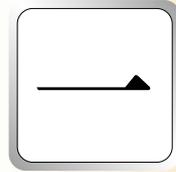
原ダムの放流を契機に、岡山県が真庭市及び関係者による「湯原ダム下流河川整備協議会」を設置し、河川整備に関する検討を行ってきました。その結果、放流による砂湯等への被害軽減や治水、河川環境及び観光に配慮した遊歩道（全長約260m）の整備や石積護岸の改修等を実施することとなりました。



クリスマスキャンドルファンタジー 砂湯周辺

真庭市議会 12月定例会

12月定例会の議事録は3月上旬から閲覧できます



一般質問の記事は800字以内で、質問した議員本人がまとめています

山本久恵



就職氷河期世代とひきこもりの支援

【就職氷河期世代IIロスジェネレーション】来年度から始まる就職氷河期世代活躍支援プランは、約35歳から45歳前後の非正規労働者のキャリア教育訓練支援、各種資格取得支援他が有る。真庭市ではどのような対策を計画しているのか。

また、現在ひきこもりの子を扶養している親世代も高齢化しており、いずれ8050問題が起きる。中高年のひきこもり当事者は、高

答弁者



太田昇市長



三ツ宗宏教育長

答 太田市長

私は随分前から就職氷河期世代を意識して採用を考

えていた。この世代に限らず優秀な人材確保のため中途採

齢になった時低年金・無年金では生活が困窮し、生活保護を受給するかもしれない。健康で安心して暮らすためにはどのような対策を実施すべきか。

議会中継を見て下さっているロスジェネさん、ひきこもり当事者さん、親御さんなどが、今回の質問で少しでも解決の糸口とか窓口を見つけられることができれば、それで良い。



本庁舎敷地内にある 真庭市ふるさとハローワーク

用も取り組んでいる。地方版ハローワークを設置し、早期就職支援を図った。就職相談、職業紹介、企業からの相談にのっている。就職訓練や相談は、津山市に設置している若者就職支援センターを

紹介している。優秀な人材を確保するために、真庭全体を魅力ある土地にするのである。

ひきこもりの実態は、国の調査から推定すると340人ぐらいと思う。個人のプライバシーの問題には入り込みにくい、人によっては難しいデリケートな問題である。一人一人に応じた適切な支援をしていく。相談があれば、個別に具体的に丁寧に対応していく。真庭市では、『くらし安全課』が窓口だ。地域社会で孤立することなく、自分らしく暮らしていきける雰囲気をつくり、支援をしていく。



写真は傍聴席から撮影

緒形 尚

問



トイレ洋式化に
予算計上!

真庭市においては、老朽化の改善や学校統合に伴い新築校舎も増えてきており、トイレの洋式化は進んできているように思うが、築年数の古い学校もあり、和式トイレが主流のところもあると考えている。

1つ目、生活環境の向上により、多くの子どもたちが洋式トイレでの生活をしている。和式トイレの苦手意識から利用を我慢する傾向があると言われている。学習環境の改善のためにも、トイレを我慢することなく健康的に学校生活を送れるよう、洋式化を進めるべきだ。

2つ目、災害時には小・中学校体育館も避難所として使われる。高齢者、障がい者にとって、洋式トイレはなくてはならないもので、小・中学校体育館に洋式トイレは欠かせないものと言える。いざとい



北房小学校の車椅子トイレ

うときに誰もが安心して避難生活を送れるために必須である。

3つ目に、和式トイレよりも洋式トイレは節水でき、環境にも財政にも優しい。

以上、3つの理由からトイレの洋式化のさらなる推進が重要であると考えている。今後の取り組みや整備について伺う。

答 三ツ教育長

学校全体で洋式便器が一つもない学校は現在ないが、校内の児童・生徒用のトイレが和式のみという学校が1校、避難所となる体育館用のトイレが和式のみ为学校が

4校、職員用のトイレが和式のみ为学校が1校という状況である。子どもたちの生活環境、それから避難所対応等を考えると、早期に洋式を中心としたトイレ環境の整備が、大きな課題だと認識をしている。

避難所となる体育館用、職員用トイレは温水洗浄便座つき、児童・生徒用は暖房便座つきのトイレを標準的な水準として整備を考えている。具体的には、来年度からトイレの洋式化について予算計上をして、事業の推進を図っていく。

竹原茂三

問



里海米を1俵当たり
300円高く買う

12月から、市内で里海米の基準で生産された米を学校給食に提供することとなった。また市では、ESD(持続可能な開発目標)の具体的な取り組みとして、瀬戸内海の牡蠣殻を土壌改良材として使用した米を「真庭里海米」としてブランド化した。そこで「真庭里海米」として市がブランド化するから



真庭里海米を太田市長が販売

には、生産者に何らかのプレミアムは検討しているのか。米の品種は何で取り組み「真庭里海米」としていつ販売するのか。セルカ(牡蠣殻の粉末)は土壌改良材であるが、市が実施する生ごみの液肥との関係はいかがか。

答 太田市長

J Aが里海米を一般米に比べ一俵当たり300円高く買い取る。一俵300円乗せが高いか安いかわからないことはあるが、J Aは相当の負担になり、勇気を持った取り組みだと思っている。真庭里海米の品種は、特定品種に限定したブランド名ではなく、セルカを投入しJ Aに出荷した米にしかつけられない。市

では、きぬむすめ、ひのひかり、こしひかり、あきたこまち、ヒメノモチの5品種で生産する。11月22日より、おみやまコープ等で本格的な販売が始まり、約700俵の販売が予定されている。

セルカは、土壌改良材で、冬の間はまき、稲の根の張りが良くなり、倒伏しにくく収穫も上がる効果がある。液肥は春に入れる元肥と、追肥で入れる肥料なので相性は特にないと考えている。

廃校・廃園の
管理責任は市

問

廃校、廃園となっている7施設、特にグラウンドの草刈り等の管理はどこが責任を持つてするのか。

答 太田市長

活用策が決まるまでの間、地域自主組織をはじめ利用者の方々で草刈りや清掃を条件にグラウンド使用をいただいている。使用しないグラウンドの管理責任は、最終的には市にあるので環境衛生上、防犯上、必要に応じて草刈り等はしていく。

庄司 史郎



問 エステイジーズ
**SDGs円卓会議の
今後の取り組みは**

①SDGs円卓会議は定期的に開催するとしているが具体的には。

②円卓会議パートナー相互のSDGsの達成度確認はどのような形、方法で行われるのか。

③円卓会議の活動情報提供については、参加団体が掲げている目標が市民に伝わり、そのことで市民の関心を



初めて開催されたSDGs円卓会議

呼び起こし、広がりにつながると考えるがどうか。

④教育委員会、教育現場ではSDGsの取り組みについてのどのように考えているか。真庭市の未来を担う子どもたちが、持続可能な真庭市をつくっていくことに大きくかかわって育っていくことは非常に大切なこと。小学生、中学生、真庭の未来を担う子どもたちが加わって運動していく、そういう渦ができないといけないのではないかと。

答 太田市長

①会議そのものは年2回やってもいいが、一応原則1回と想っている。

②単純に目標を具体的にこうだというより、取り組みを通じて決めていくようなことをすれば、目標も抽象的なものもあつていいと思っている。

③市広報、MIT、新聞など含めて情報提供し、SDGsパートナーを紹介する冊子も配布、ホームページでも公表している。真庭市の全部局でSDGsの目標を持ってやっていくことをしながら、市民にあらゆる情報発信をする。

答 三ツ教育長

④持続可能な社会の担い手を育てていく、これは学校教育の大きな目的である。パートナーを最初に募集されたときに、小学校長、中学校長、中学校長が代表で加わっていたので、各学校が参加するかしな迷ったところがあつて、できていなかった。先日の校長会で改めて登録し、学校としても学校の取り組みをアピールしていく。市民運動を支えていくんだということを改めてお願いした。

妹尾 智之



問

**地域の未来を創る
消費生活**

①地域で高齢者等の配慮を要する消費者が消費者トラブルの未然防止、被害の早期解決により、安心して過ごせるよう、地方自治体ごとに設置している消費者安全確保地域協議会を設置してはどうか。

②エシカル消費の普及啓発をどのように行うか。あな

たの消費が未来や世界を変える、プラスチック問題、食品ロス、地球温暖化など、社会的課題は多くある。消費者一人一人が、今の自分にとって必要な消費ではなく、未来や世界を大切に消費、SDGsゴール12「つくる責任とつかう責任」市長の御所見を伺う。

③真庭市の消費者行政へのこれまでの取り組みについて、消費者を取り巻く環境の変化を受けた時代にあつて、市民との直接のかかわり合いが一番強い自治体として、今後どういう姿勢で消費者問題に取り組んでいくのか。



消費に関する困りごとは消費生活センターへ

答 太田市長

①真庭市地域見守りネットワーク事業「まにわのわ」を実施して、その中で消費生活センターもこのネットワークを支援する立場で、包括支援センターや関係者と連携して、消費生活上特に配慮を要する消費者の支援を行っている。消費者安全確保地域協議会の設置について、前向きに検討していき、早い時期に協議会に向けて準備を進めていく。

②真庭市でもCOOLC H O I C E の取り組みを積極的にやっている。環境の視点も入れて、エシカル消費も広めていくような活動をしていきたい。

③平成23年7月には消費生活センターを設置し、電話の方、来られた方等で相談される方により充実した丁寧な対応をしている。今後、ますます消費者行政と必要がある。人材を含め真庭地域で十分なることをやっていくには、諸条件をもっと整備し充実したものに取り組む。

小田 康文



問 真庭里海米をブランドにしてい

市ではSDGsの取り組みの一環として、真庭里海米の振興に取り組んでいる。農家が次年度も再生産可能な所得が一定程度確保され、耕作放棄地が増えることなく、稲作が後継者に事業承継されていくべきであると思うが、市長の見解はどうか。

答 太田市長

この里海米で後継者がどんどん出てくるなら、日本の農業は悩むことはない。県内シェア3割を占める優位性を生かして、農業所得の向上を図っているように農協と一緒にやっていきたい。

問 ラジコン草刈り機を市で購入する

産業団地の法面をラジコン草刈り機で除草する様子がテレビで放送された。市が



法面を除草するラジコン草刈り機

機械を導入し、市民が希望すると貸し出すとのことだが、その計画は進んでいるか。

また、市が導入したラジコン草刈り機を社会福祉法人等に整備し、草刈り業務を有償委託するというスキームの導入で、農業における負担の軽減と省力化、また障がい者への施設外就労の機会提供と高賃金化という農福連携の推進が図られるのではないか。

答 太田市長

スマート農業技術の実証実験を市内で実施し、労力軽減に大きな効果があることが分かった。スマート農業機械の典型が草刈り機である。市でモデル的に購入し

て、市民に使っていただき、本格導入を考える。

第3次真庭市障がい者計画において、福祉的就労における受注機会の拡大を図り、工賃の向上を目指すことを掲げている。改善の一つの方策として農福連携がある。障がいのある方にスマート農業機械

を扱っていただくようにするというのは、アイデアとしては非常にいいことで進めていきたい。

初本 勝



問

地球温暖化と環境問題

環境問題は、あらゆる場所において問題提起が行われている。アメリカには大型化したハリケーンが毎年上陸している状況の中、トランプ大統領がCo2削減のパリ協定離脱、なぜ経済優先なのか。日本においても異常気象で大雨、土砂災害が起き、いまだに避難所生活をされている

現状である。

また、気温上昇により日本が昨年熱中症で救急搬送された方が9万5千人、死亡された方も相当数おられる。

私達にできるこの問題の解決は何かと考えたとき、一番に化石燃料を使わないようにすることで、この地球を次世代に送る事ができると思っている。真庭市は再生エネルギーの使用を考え、リーダーシップをとっている市長は、この問題を見据えて、今現在に至っていると思うが、環境問題についてどのように捉えているか伺う。

答 太田市長

地球温暖化が厳しい状況になってきている折、最近国連が地球温暖化が急速に

進んで、二酸化炭素の排出量が昨年度最高になっている。来年から発効するパリ協定を守っても、大変なことになると警告を出している。それにも関わらずアメリカはパリ協定から離脱するということを国連に伝え、2020年11月4日離脱することになっており、2015年に気候変動枠組条約に加盟する196カ国が合意する画期的な国際協定であるにもかかわらず離脱である。

地球温暖化、大気汚染は、地球規模の問題であり、地球全体で解決しなければならぬことである。真庭市も平成29年に第3次真庭市地球温暖化対策実行計画を策定し、化石燃料抑制のために木質バイオマスをはじめとする再生エネルギーへの転換等を推進している。



化石燃料を抑制 バイオマス発電所

低炭素社会、エコタウン真庭実現に向け、バイオマス発電や省電力家電の普及啓発により、長期的にエネルギー自給率100%を目指す。

原 秀樹



病気・介護予防の事業検証と課題は

問 国政で、病気・介護予防が重要施策と位置付けられ、来年度予算案では、予防事業に積極的に取り組む自治体の交付金として倍額の予算編成がなされている。団塊の世代が75歳以上になる2025年に給付費が急増し、保険料の上昇が避けられないとの事である。真庭市では、他市町村に先駆けて各種予防事業に取り組んできた。見解を伺う。



久世地域で開催 そよかぜカフェ

② 住民主体で実施している「ささえあいデイサービス」「元気はつらつデイサービス」「認知症カフェ」などに携わられている市民団体との直接的な意見交換の場がない。場の創設を行い現場の意見を聞き、施策に反映する体制作りが必要では。

③ 有償ボランティアとして実施できる財政支援の充実は。

④ 生活支援コーディネーターの方々が目標を掲げて達成するよう専任制度導入の考えは。

答 太田市長

① 市が、病気・介護予防で、医療・福祉関係と一緒に頑張って頑張っていることについて紹介いただき有難い。「ささえあいデイサービス」は、6カ所・「げんき☆輝きエクスサイズ」は38ヶ所と徐々に広がっている。課題は、集いの場への送迎の問題で、地域ケア会議や地域の方々と一緒に考えていく。また、集いの場の取り組みへの財政支援も必要と考える。令和2年度からハビリ職、理学療法士・作業療法士を配置し、介護予防の推進を強化する。生の声を聴き進めていく会議も検討する。

答 上島健康福祉部長

② 会議は、担当課、支援コーディネーターと相談していき、市民ボランティアの意見を取入れ施策を展開していく。

③ 若い人が携わって後継者が、事業を継続でき、集いの場を拡充できるように支援し、持続可能なように展開していく。

④ 介護予防は非常に重要なことであり、より充実していく。

岩本 壯八



問

保育園の給食費無償化を検討

消費税率引き上げに伴う増収分を財源として10月から始まった幼児・保育無償化は就学前3年間の3歳〜5歳、住民税非課税世帯の0歳〜2歳児を対象に無料となった。残された課税世帯の3歳未満児では、第1子は全額、第2子は半額という保育料負担が残されている。市独自の子育て支援として、全て無償化して経済的負担を無くし、安心の子育てができるよう取り組む考えはないか。併せて、副食費の無償化は考えられないか。

答 太田市長

税の負担との関係という大きな問題も含め、真庭市で全園児の保育料を無償化するということは考えていない。副食費については、無償化していく方向で、課題を整理して、具体的な検討を進める。

災害時でのSNSの活用を

問

大規模災害時には、交通網の遮断、電気や水道などの生活インフラの停止、被災者救援など、緊急を要する事案が広範囲、同時多発的に発生することが予想される。こうした緊急時には行政や消防、地域住民が正確な情報を得ることが緊急対応の一步となる。災害現場の情報収集は迅速また正確に把握できているか、集まった情報の処理や行政と現場との情報共有は



みんなでもちつき 勝山こども園

答 太田市長

災害時の情報をよりリアルタイムで迅速に把握できるといふ意味では非常に効果的。このアプリが汎用化されると予想し、動向を注視しながら費用も含め検討する。

どのようにしているか。

こうした緊急時に、無料通信アプリ「LINE」、いわゆるSNSを活用して被災状況を共有する「消防団スマートフォン情報システム」を導入しているところがある。消防団員は位置情報や被害状況を写真や文章で報告、被害状況はアプリ上で順次集約され、地図上に表示されるシステム、導入する考えはないか。

岡崎陽輔

問



核兵器禁止条約の
批准・調印を

真庭市総合計画では、平和とは、普通の生活が続いていくことであり、人生と命が保障されていることと規定している。平成19年3月議会で、すべての国の核兵器廃絶と軍縮を願い、不断の努力を続けると誓い、非核平和都市宣言をした。

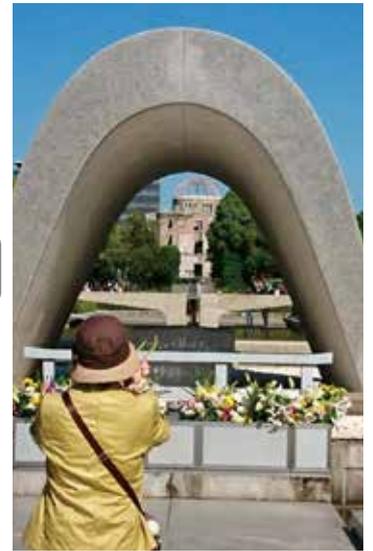
2017年、国連では核兵器禁止条約を加盟国の3分の2が賛成し、採択した。核兵器は違法化され、悪の烙印が押された。被爆75周年を迎える中、唯一の被爆国日本には、全ての被爆者の願いに応えるために、政治的にも道義的にもこの条約の調印、批准する責務がある。しかし、日本政府は一貫して背を向けてきた。

政治的、道義的な退廃とも言える状況を国民の力で大きく変えることが求められる。こうした中、フランシスコ・ローマ教皇が来日した。教皇は、原爆投下の非人間性

を明確にし、核兵器による抑止論を欺瞞とし誤りを指摘した。核兵器の脅威にたいし、全ての人が一致団結し応じることを訴えた。ローマ教皇のメッセージをどう受け止めるのか、日本政府に批准・調印を求めるべきではないか？真庭市の平和行政の今後の取り組みについて明らかにするとともに、非核平和宣言を明らかにする標柱等モニュメントの制作設置を求める。

答 太田市長

被爆国日本は核兵器問題で特別の役割がある。本来なら、日本がまず批准をするぐらいの行動が当然だ。市民の皆さんと一緒に、平和への理解と啓発を始めた。歴史を学ぶことも含めて、市民の皆さんに訴えかけ、戦争や核兵器のない平和な社会の実現に向けて、平和行政を推進していく。モニュメント等は、市民主体の運動や議論を期待する。



平和記念公園から臨む原爆ドーム

答 三ツ教育長

学校の平和学習はもちろん、さまざまな場で、平和・人権についてともに考える場を作って行きたい。また市民運動と連動し、応援する取り組みを進めたい。

柴田正志

問



学力向上の取り組み

全国学力・学習状況調査において全国トップレベルの秋田県の取り組み、考え方で印象に残ったことがある。家庭学習で宿題以外に自主学習ノートを使った学習があり、家族のコメントが書かれ、学校、家庭が連携して学習習慣を育む取り組みが出来ていること。学力テストの結果よりも考え方や行動、生

活習慣に着目し、人としての当たり前度の高さを大切にしていることである。

①真庭市でのこういった取り組みの進捗状況と、どのような効果があらわれているのか。

②学力改善に向けて授業の質の向上と家庭の連携を強める為に具体的にどういったことを検討しているのか。

③生活習慣を整える上で学校・家庭での端末機器の取扱いについての指導はしているのか。

答 三ツ教育長

①秋田県の取り組み等は先行事例とし岡山県全体で

取り入れて実施している。徹底度に差があるが真庭市でも取り組みをしている。自主学習ノートの保護者のコメントは、全体でそれを盛り込んでやりましょうという働きかけはしていない。真庭市での今後の在り方については考えていきたい。学習状況については改善状況が多く見られるが、点数がでる学力調査では改善が遅れている状況である。

②授業から考えて、対話して、自分なりの思考を進める授業への変換を図っている。家庭との連携では、させられる宿題から、自分で調べて取り組む宿題への変換を図っている。将来を見通して、今、学んでいる事の価値に気づくために郷教育を核にしながらキャリア教育を進めている。学んだことを記録して蓄積して振り返る「キャリアパスポート」という名称で各学校での活用を始めている。

③小学校に至るまで、子どもの生活の中にスマートフォンが入ってきている。特別活動、学活の時間で指導している。あわせてPTA研修等で保護者と一緒に学ぶ機会も設けている。



授業の様子 富原小学校

大月説子



問 振興局単位での避難訓練を充実する

地域防災力の向上のためには、自主防災組織を核とした地域内コミュニティ連携が重要で、学校や企業、病院、ボランティア団体、消防団等を含めた防災訓練を実施してはどうか。

答 太田市長

振興局単位で行っている訓練は自主防災組織や自治会、消防団が中心である。今後は民生委員、愛育委員、栄養委員、社会福祉協議会、企業の方々にも入っていただいで防災訓練を充実していく。



ひきこもり相談は落合人権・福祉センターへ

答 三ツ教育長

昨年度草加部小学校で学校安全総合事業に取り組んだ。活動の中で、避難所の開設や避難訓練を地域とともにに行った。それを研修の機会を設けて普及していく。

問 ひきこもり対策は個別支援が中心

ひきこもり対策のために、まず実態の把握と地域の活動をつなぐ仕組み作りが重要で、アウトリーチ事業や地域相談会の開催を提案する。

答 太田市長

また、教育現場においても、中学校卒業後の不登校者への支援と高校や地域との連携が必要ではないか。

答 三ツ教育長

相談体制づくりと支援の継続で、今年度の段階では

未支援という状況は生まれていない。また昨年度の実績では、教育支援センターに通学していた生徒は全員進学を果たした。スクールソーシャルワーカーや県の相談機関は高校でも継続支援が行えるので、中学校在籍の段階から支援の接続が行えるように努める。

答 上島健康福祉部長

市長から、改革・改善に努めるよう言われており、総社市の例を参考にさらさら改善を図る。

問 柿本健治

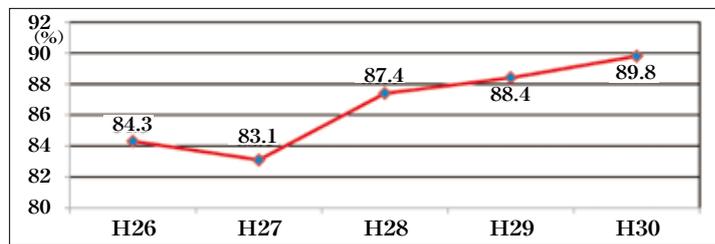


令和2年度予算編成方針

合併後15年が経過し人口は約15%減少、高齢化率も39%に達しており、少子・高齢化が進行する中山間地域となっている。2025年を目前に控え、高齢者支援策や少子化対策が喫緊の課題となっている。

予算編成方針では、人件費、公債費などの義務的経費

の増加により、財政運営は一層厳しさを増すものとして、経常経費率の推移などの図表が示されており、毎年度10億円程度の収支不足の見通しを示されている。



経常収支比率の推移

大変革であり、社会情勢の変化への対応が必要と考える。先例主義に陥る事なく、S・D・G・s 未来都市として持続可能な共生社会実現に向けた予算編成とすべきと考えるが所見を問う。

答 太田市長

市議会が29年度から政策提言に取り組まれている事は有難い。誠心誠意対応していきたい。基金は本当に積み上がった。一定程度使わないと、財務省から地方の金余りだと言われる。次の世代に何を残すかとの思いで仕事をしている。

合併後15年間の決算状況を見ると、経常収支比率は改善傾向が見られたが近年悪化傾向となっている。人件費も、職員減少に伴い減少傾向にある。基金残高は、昨年度末で296億円を超えている。議会も、喫緊の課題について政策提言を行っており、安心して暮らしていただける真庭市づくりに向けた取り組みを行っているが対応を伺う。

来年度から実施される会計年度任用職員制度は

過疎対策事業債が使えるから経常収支比率は上がるが交付税の跳ね返りがあり、一定基金は積める。見せかけの経常収支比率は上がる、一定投資をしていけば95%位までかなと思っている。交付税の裏打ちと基金でびくともしない。見せかけのような弾力性がない訳ではない。経常経費は抑えながらと言っても、能のない抑え方はしない。健全財政を維持しながら、未来に生きる投資は思い切つてやっていく。



- ① 林業・農業に力を入れる
赤木 翔吾
- ② 高校生まで医療費の無料化
拡大 若者が住みよい町にする
岡崎 壮宏
- ③ 政治に無関心な若者の声
を聞き、暮らしやすい地域づ
くりを生かす 岡田 湧司
- ④ 真庭ってこんな住みやすい
場所なんだって思える施設を
作りたい 岡田 悠佑

- ⑤ 真庭に関心を持ってもらう
何かをして、真庭の良さを広
めたい 緒形 沙耶
- ⑥ 他世代、地域の交流が深ま
るまちづくりがしたい
- 小椋 葉月
- ⑦ 若者が集まる働き口と商業
施設で真庭市の活性化
- 大佛 健
- ⑧ 若者が帰って来れる町にする
澤山 元紀

今年から20歳の集いと名称変更

1月12日、今年から成人式を「20歳の集い」に名称を変更し、勝山文化センターで新成人382名が出席して式典やアトラクションなど盛大に開催されました。

20歳の集い実行委員に聞きました 議員になったらやってみたいこと



- ⑨ いっぱいお祭り、楽しめる町にする
隅田 楽々
- ⑩ 子どもと高齢者が交流できる場を作
り、地域活性化に貢献 高橋 実菜
- ⑪ 休耕田を活用して雇用の場を作る
武村 知樹
- ⑫ 若者と高齢者が手を取り合って共生
できる社会を作りたい 長尾 昂樹
- ⑬ イベントを増やして地域を活性化したい
中元 莉梨
- ⑭ 地域の人々の声を聞いて、より暮らし
やすい街にしたい 西本 一貴
- ⑮ 若い人が帰ってくるような住みやすい
町にしたい 三浦 野々華
五十音順 敬称略

▼20歳の集い実行委員の集合写真

▶ 成人者で満員の会場



GIKAI NO UGOKI

議会の
動き
特別バージョン



ICT化推進部会



可児市議会議場のICT活用

ICT化推進部会は、議会改革活性化策15項目のうち

大阪府大阪市 岐阜県可児市

①インターネットによる情報公開と利活用②議会ホームページの充実③タブレット端末を活用した議会運営の3項目を実現するため、平成29年5月に6名で発足されました。「インターネットによる情報公開」では、既に政務活動費の領収書等を全面公開しています。「タブレット端末を活用した議会運営」は平成30年12月定例会から全面実施となりました。

残る「議会ホームページの充実」と議事録作成の支援システム導入等について、部会では10月7、8日に大阪市と岐阜県可児市を視察しました。「自動文字起こし・AI要約システム」は取扱業者の社内デモを受け、発言者の声が瞬時に文字起こしされ、AIによる要約も可能とのことでした。翌8日には、優れた情報発信力とホームページを構築している可児市議会でその取り組み状況を視察しました。今後とも「見える議会」を目指してまいります。(文：岩本)

先・進・地・視・察・レ・ポ・ー・ト

活性化推進検証部会



あいさつする柴田部会長

昨年10月、「議会活性化 **兵庫県加東市**」の取組と議会基本条例の検証方法などの調査のため、先進地である兵庫県加東市議会を視察しました。当日は議長・議会運営委員長から説明等を受け、意見交換をしました。

加東市議会の基本条例は、平成22年に制定されました。その後、議員の改選があり、新人議員へ基本条例の周知の必要や全議員へ条例の目的や理念の再確認のため、議会基本条例の見直しが必要となりました。

平成28年から、議会基本条例検討特別委員会を設け、全議員からアンケートをとり、検証を行いました。政策議会へと脱皮するため、平成30年に全会一致で基本条例の改正を行ったとのことでした。

議会基本条例は議員同士の共通認識となるものです。現在真庭市議会では、基本条例のアンケートを全議員を対象に実施したところです。真庭市議会の取り組みを推進するため、より一層議会の活性化に努めてまいります。(文：山本)

先・進・地・視・察・レ・ポ・ー・ト



参加者全員お茶で乾杯

真庭市新年互礼会に約100人が参加

1月6日、恒例の真庭市新年互礼会が各種団体の代表者、真庭市執行部・市議会議員ら約100名が参加し開催されました。互いに新年の挨拶を行い、最後は消防団長の音頭で万歳三唱で会を締めくくりました。

募 集

市民と語る会の参加団体を募集中

市民皆様の多様な意見を市政や議員活動に反映させるため「真庭市議会報告会+市民と語る会」を7月に開催いたします。自治会等、地域単位での会場へお伺いします。ご応募お待ちしております。

開催日：7月1日(水)～10日(金)の間(2時間程度)
対象団体：自治会、地域自主組織等 締切2月28日(金)
(黄と水色は参加者が意見を書くふせん紙をイメージ)

GIKAI NO UGOKI

議会の動き

10月 11月 12月 1月編

真庭市議会議員研修会



林准教授の話を聞く議員

市政が取り組むべき課題は多岐に渡っており、市議会として、議論を重ね、進むべく方向性を導き出すために、10月4日環太平洋大学の林准教授（政治学）を迎え「議員間の自由討議の推進について」と題して、議員研修会を行いました。その中で自由討議は、議会と執行部が行うものではなく、議会の中で議論をし、議会から政策立案していくための過程として、自由討議を議会で行うものであり「議員相互間の自由討議による合意形成」の重要性の説明をいただきました。



◀ 議会運営委員会

▼ 議会報告会+市民と語る会正副班長



2020年の市民と語る会は7月1日から

11月15日、議会運営委員会と議会報告会+市民と語る会正副班長合同会議があり、令和2年度の流れを決めました。

2月28日までチラシで「ざっくばらんに語ろう」の参加団体を募集し、5月発行の議会広報で日程と会場を報告します。7月1日から10日の間に4班に分かれ、24人が各地域に出向く予定です。

研鑽積みに次々と全国大会へ参加



10月30、31日、高知市にて全国市議会議長会研究フォーラム。10月31日、11月1日、青森市にて全国過疎問題シンポジウム。11月7、8日、まんのう町にて全国水源の里シンポジウム、霧島市にて全国都市問題会議が開催され、多くの議員が参加し研鑽を深めました。(写真は全国水源の里シンポジウム)

エスディー・ジーズ エスパスでSDGs円卓会議を開催



10月27日エスパスホールで、市民や真庭SDGsパートナーとともにSDGs円卓会議結成大会が開催されました。各分野の代表から決意表明の発表があり、真庭市議会は議会改革と活性化を力強く表明しました。(株)日本総合研究所主席研究員の藻谷浩介氏による、SDGsと「里山資本主義」真庭の挑戦と題した講演がありました。(写真は円卓での会議風景)



パースデーフォト 社協八東支所



明日への祈り 伴野星子



猪ハンター お猿の友達



一燈照隅 万燈照国

この度真庭市の特産「銀沫」が当選しました。噂に聞いていたのですがまだ食したことがなく、嬉しかったです。(真庭市へ一言) 他の自治体の方が「真庭市は市長以下よう頑張れよーりんさるな」と言われたことがあり、鼻が高くなったことがあります。一燈照隅 万燈照国という言葉がありますが、これは「一人一人がひとつの隅を照らしていけば初めてその国は明るくなります」という意味だそうです。ご苦労は多々おありと存じますが、今後も陰ながらエールを送らせていただきます。

真庭市鍋屋 高平 健治さん



人と人のつながりを大切に

勝山で有名な銀沫が当たりうれしかったです。家族みんなで食べたいと思います。(真庭市へ一言)人と人のつながりを大切にしたイベントを開催して、災害があった時みんなで助け合える町にしたいと思います。それと自然を大切にしたいと願います。

真庭市多田 浅雄 梨々華さん

議会改革の更なる推進

ICT化推進部会は議会改革の更なる推進のために活動しています。2018年度は早稲田大学マニフェスト研究所が調査し公表している議会改革度調査ランキングで1447議会中96位と大きな飛躍を遂げましたが、情報共有の点で多くの改善が求められています。

このようなことから、市民に開かれた議会にするために、ICT技術を活用して情報公開を進めていきたいと考えています。

ICT化推進部会 部会長 小田康文

基本条例の共通認識を

真庭市議会が平成28年に作成した議会活性化に向けての15の取組目標(議会活性化15策)に沿った活動ができてきているのか、10回の検証部会を開催し検証・評価しました。

今年度は新たに真庭市議会基本条例に関する意識調査アンケートを実施し、基本条例の共通認識を図りました。検証結果は全議員で共有し、次年度の議会活動に生かす予定となっています。6人の部会員で使命感を持ち全力で取り組んでいます。

議会活性化検証部会 部会長 柴田正志

ハガキとおしゃべり...

「真庭市」をひらがなの「まにわ市」にしては?全国でひらがな市は30ほど。話題になるのでは!

合併前に新市の名称を募集した結果、1位真庭市51票、2位

まにわ市390票でした。

合併協議会での委員

による投票では真庭

市57票、まにわ市7票

で真庭市と決定しま

した。この名前を大切

に、大事に使っていく

と決めています。

議 会 報 告



葉皿 八右衛門



プラモデル車 小林利美



竹細工蟹 ゴルフ好きいじ



1月1日 国立競技場 天皇杯決勝に行ってきた TOKU

市民の 広場

ここは市民みんなで
つくるページです
楽しい気持ちでご参加ください



少女シリーズ(山々を望む) 宮本恵介



2/29~ 勝山のお雛まつり 勝



檜西の足尾滝 KEI



宝来夫婦ねずみ 山乗和子



極楽鳥似 KYO



いづみちゃん #ベビスタ



大きくなったね いっしん



フッフッフリマ SACHI



雪の旧遷喬尋常小学校 ⑨



北房のイルミネーションは2/14まで 初枝



ねぶたの家 クラッセ モト



蒜山 苗代川の親柱 縞子

被災地に義援金
被災された方々を支援するため、
真庭市議会は台風19号により
議員の抛出金による義援金24万
円を全国市議会議長会を通じて
送りました。写真の令和元年台風
第19号災害義援金募金箱は3月
末まで市役所本庁舎、各振興局に
設置しています。

被災地に義援金



市役所にある
義援金箱

BO 集

絵画、イラスト、書、写真などを募集して
います。住所、氏名、電話番号を書いてくだ
さい。ペンネームを希望される場合も連絡
先と氏名が書いてあることが必要です。

「投稿! 言いたい」は200字以内にまと
め、ご応募ください。文責として氏名を掲
載します。誹謗中傷等の内容や紙面の都
合上、掲載できない場合があります。

応募先 真庭市議会

宛先:24ページの緑帯欄に記載しています

3月定例会の日程

- 2月21日(金)本会議(開会・提案説明)
- 3月6日(金)本会議(一般質問)
- 9日(月)本会議(一般質問)
- 10日(火)本会議(一般質問・議案質疑)
- 11日(水)12日(木)13日(金)常任委員会
- 16日(月)17日(火)予算審査特別委員会
- 23日(月)本会議(委員長報告、採決、閉会)
- 会議は通常午前9時30分に開会します。
- 正式には2月13日の議会運営委員会で決定します。



お知らせ

6月定例会の請願・陳情は5月29日(金)まで

9月定例会の請願と陳情の受付は、8月31日(月)までです。

12月定例会の締切は11月30日(月)
 来年3月定例会の締切は1月29日(金)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝祭日等の市役所の閉庁日は除きます。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

議会クイズ

議員が議論し、共通認識を図り、政策提言の推進を目的とした討論会は？

“○○討論会”

正解者の中から2人に「真庭里海米きぬむすめ無洗米5kg」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を24ページ緑欄に記載して真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切は2月28日(金)です。

前号の応募総数は52通で、正解者52人でした。ご応募ありがとうございます。



真庭里海米きぬむすめ



ふるさと
1枚

中和神社と5本のほこ杉 びっくりする大杉... 高さ58m、樹齢400年と聞きました 圧巻です

選挙の必需品だるま

MITをご視聴ください
 真庭市議会定例会は、真庭ぎきテレビ「MIT」のサブチャンネル(1200)で生中継しています。
 また、一般質問や各常任委員会付託案件審査は録画し後日放送しています。是非ご視聴ください。

選挙に出馬、そして当選すれば、どこの事務所でもだるまに目を入れていきます。他にもだるまと名前のつくものは数多くあります。例えばこの季節「雪だるま」「ダルマストープ」という言葉もあります。
 だるまは子どもにも親しまれ、小さい頃「だるまさんがころんだ」で遊んだ人も多くいると思います。また、にらめつこの時の「だるまさん、だるまさん、にらめつこしましよ、あつぷつぷ」と言って遊んでいました。このように色々なだるまの中でも、だるまと言えば一番にイメージするのが、赤いだるまです。
 選挙の必需品だるまですが、選挙だるまが始まったのは、大正14年普通選挙法が成立し、初めての総選挙となった昭和3年でした。その時のだるま屋は「当選請け合い」という歌い文句で販売したといわれています。これが選挙だるまの始まりで、現在では全国に広がっています。一般的にだるまの目入れは「最初は左、満願で右」、選挙では「最初は右、当選で左」が多いようです。(文：緒形)

議会おもしろ話

議会改革 新たなステージへ

真庭市議会広報まにわ 第59号

令和2年2月1日発行 TEL 719-3292
 発行 真庭市久世2927-2 真庭市議会

TEL (0867)42-1272 FAX (0867)42-1420
 URL <http://www.city.manawa.lg.jp/> (真庭市ホームページ)
 Eメール gikai@city.manawa.lg.jp